

麻しん風しんの予防接種を受けよう！

文=齋藤 あゆみ(保健師)

麻しんは、麻しんウイルスが空気感染・飛沫感染・接触感染とさまざまな経路で感染することで起こります。感染力が非常に強く、10日前後の潜伏期を経て鼻水・咳などとともに38度以上の熱が3〜4日続き、いったん解熱した後再び高熱とともに発疹が全身に広がります。発疹が現れる前に頬の内側にコプリック斑



麻しんって何？

平成19年に10〜20代を中心に麻しんはしかが大流行しました。国は「2012年までにははしかゼロ」を目標に掲げ、麻しんを排除する取り組みとして予防接種の対象範囲を拡大しています。羽幌町における麻しん風しんの予防接種率は約90%。みなさんが正しい知識を持って、徹底した予防を心がけましょう。

麻しんは、麻しんウイルスの飛沫感染によって起こります。2〜3週間の潜伏期間で、38度以上の発熱と同時に発疹が現れますが、3日ほどで治るので、3日ははしかとも呼ばれています。主な合併症として関節痛や脳炎などがあり、妊婦が妊娠初期にかかると胎児に感染して先天性風しん症候群（難聴・先天性心疾患・白内障及び網膜症など）が発生することがあります。



風しんって何？

（中央が白く赤みがかった斑点）ができるのが特徴です。麻しんに罹患すると免疫が弱まるため、気管支炎・中耳炎などの合併症を引き起こすことがあり、重症化する恐れもあります。

麻しん風しん予防接種を受けるには？

羽幌町では、指定した医療機関で接種を受ける「個別接種」として実施しています。お子さんの健康状態などに応じて保護者の方が接種日を決めて接種を受けてください。

対象者や接種できる日時などは次のとおりです。詳しくはすこやか健康センター保健師までお問い合わせください。

対象者(平成22年度)

第1期	1歳以上2歳未満のお子さん
第2期	小学校就学前の年長児(H16.4.2~H17.4.1生)
第3期	中学校1年生(H9.4.2~H10.4.1生)
第4期	高校3年生(H4.4.2~H5.4.1生)

接種日時 毎週 木曜日 午後3時頃から

指定医療機関 北海道立羽幌病院

接種のながれ

- ①すこやか健康センター(0164-62-6020)へ予約
- ②自宅に予診票などが届く(当日までに保護者が記入)
- ③予約当日、予診票・母子手帳を持参し予防接種を受ける

※町外で接種を希望する方は、すこやか健康センターへご連絡ください。

麻しん風しんの流行予防
麻しん風しんを発生させず、重症化を防ぐには予防接種で免疫をつけることが重要です。1回の接種では免疫がでないこと、接種後年数が経過すると免疫が弱まることから、平成18年に予防接種法が改正され幼児期に2回接種することになっていきます。
また、幼児期に1回しか接種していないお子さんも多

数いるため、平成20年から5年間の期限付きで中学1年生と高校3年生を対象に麻しん風しん予防接種を実施しています。
対象者には個別に通知していますが、未接種の方は早めに予防接種を受けるようにしましょう。
現在は、麻しん風しん(MR)混合ワクチンで、麻しんと風しんの両方のワクチンを1度で接種できます。